

ひとりひとり自分らしく 個性と個性が生み出す調和
ハーモニー

まちづくり推進課（内線326）

それって正しいの？思い込みからの脱出！

11月8日、NPO法人参画プラネットの講師による「誰もが「しあわせ」になれる社会へ～男女共同参画社会を手がかりに」と題した講演会が土岐商業高校で開催されました。講演会では男女にまつわる事例がいくつか紹介され、「男らしさ、女らしさという思い込みから脱出し、自分らしい生き方を見つけてほしい」と生徒たちへメッセージが届けられました。生徒からは「性別にとらわれず、1人の人間として生きていきたい」「自分が思っているよりも社会的な思い込みが多いことに気が付けて良かった」などの感想が寄せられました。

1999年に男女共同参画基本法が公布・施行されてから24年。身近な場面でも、ランドセルの色のバリエーションが増えたり、学生服が選択制になったりするなどの変化がみられるようになりました。しかし、地域や職場などで気付かないうちに偏った見方をしてしまうことは誰にでもあります。当たり前だと思わず「これって正しいかな」と一度立ち止まり考えることが、ジェンダー平等への近道になるのではないのでしょうか。

小さな一歩が大きなアクションに
今日から始めようSDGs

政策推進課（内線514）

エシカルってなあに？



クリスマスや正月など、年末年始は楽しいイベントも多く、何かと消費が増える時期です。皆さんは買い物をするときに何を基準に商品を選びますか？値段、機能、デザインなども大事な要素ですが、この冬はぜひ“エシカル”をキーワードに選んでみませんか。

エシカルは、英語で「ethical」と書き、「倫理的な」という意味です。SDGsにおいては、人や社会、環境にやさしいものを選ぶライフスタイルを指します。例えば、農業による環境負荷や生産者の健康に配慮して作られたオーガニックコットンの洋服、開発途上国から適正な価格で取引されたフェアトレードのコーヒー、地震や水害のあった地域で作られた食べ物や雑貨など、商品に関わった人を思って商品を選ぶことがエシカルのコツです。できることを探してみましょう。

冊子「幸せのエシカル消費」
（市ホームページ HP 1006687）



ようこそ手話の世界へ 福祉課（内線217）

これまでに紹介した手話写真の動画を見ることができます。



聴覚障がいのこと、学んでみませんか

聴覚障がいの基礎知識を当事者から直接学べる出前講座を無料で利用できることをご存じですか。岐阜県聴覚障害者情報センターでは、職場や学校、公民館、サークルなどいろいろな場所へ講師が出向くアウトリーチ事業（出前講座）を実施しています。「聴覚障がい者が困っていることは」「コミュニケーションの方法は」などの疑問やお悩みにお答えするほか、簡単な手話や筆談の体験もできます。

職場での研修や学校での授業など、興味がある方は岐阜県聴覚障害者情報センター（☎058-213-6786）または福祉課へお問い合わせください。

岐阜県聴覚障害者情報センター
ホームページ



かんたん手話講座「クリスマスプレゼントどうぞ」
「クリスマス」



両手の人差し指を交差させ、左右下に引く

「プレゼントどうぞ」



左手の平の上で右手の親指と人差し指をつまみ、両手を前に出す